

数学序論演習に対する注意

- 演習の目的は (1) 各自が演習を通じて理解を確かなものにする事、(2) 私が全体の理解度を把握する参考にする事、にある。
- だから、課題を提出しないことで不利になることはない。
- ただし、提出するとほんの少しだけ有利になる。
- 演習中、私への質問、近くの人との相談・質問は自由に行ってかまわないが、立って歩いたりはしない事。相談可であるが、あまりうるさくならないようお互いに注意する事。
- 課題は時間の終わりまでには提出する事。
ただし、時間内の演習が不十分と感じた人が追加のレポートを提出することは可能である。提出を希望する学生は直接研究室へ持参する事。
- 演習問題の解説を適当な時期にネットに載せる。講義で配ることはしない。
- 演習問題解説等に間違いを見つけた人は連絡を (メール可)。最初の指摘者には修正点 1 点が加算される。
- 提出された課題は default では返却しない。返却を希望する学生に対しては返却するので、提出後 2 週間以降を目途として研究室に来る事。
- 演習問題のすべてを演習時間にやることはできない。できない問題は各自学習する事。
- 演習問題の中に星印のついた問題がある。これは解くと理論に対する理解が深まる問題であるが、困難性も多く、全員に解くことを要求はしていない問題である。意欲のある人は積極的にチャレンジする事。
- 演習問題の提出用紙には名前と番号を必ず書く事。それ以外は書いても書かなくてもよい。
- 番号は次の様に記入する事。
 - 再履修の学生は学生番号 10 桁をフルに書く事。

- 1年生は自分の学生番号の6桁目から9桁目までを抜き出し、先頭部分に何個かの0があればそれを略したものを書く事。

例えば学生番号が1610802305の場合、6桁から9桁を抜き出すと0230なので230と書く。

formatが正しくないものは未提出とみなす。